

日台高雄フルーツ夏祭り アンケート結果に関するレポート

農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム
(台湾)

① アンケート概要

- 2024年8月末に開催した台湾の消費者向け日台フルーツPRイベント「日台高雄フルーツ祭」において、来場者向けにアンケートを行った。
- アンケートでは来場者の属性、来場理由に加え、フルーツの嗜好、消費行動に関する質問等について聴取した。

日台高雄フルーツ祭(台日大港水果祭)

- 日程:2024年8月24日(土)～25日(日)
- 場所:海風広場
- 開催者:
日本台湾交流協会
台湾農業部、高雄市政府、中華文化総会
- 来場者数:約10万人(高雄市発表)

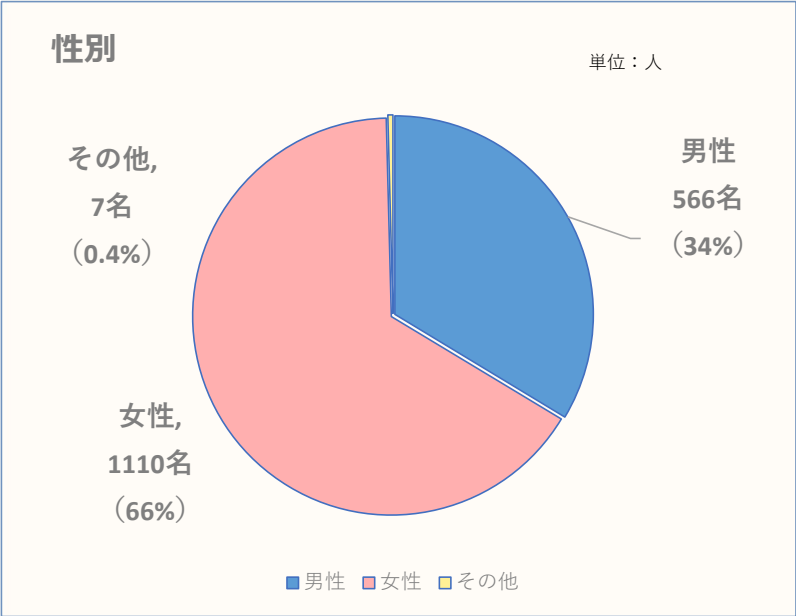
アンケート

- 実施対象:日台高雄フルーツ祭来場者
- 会場に設置したPOP等に、アンケートの回答フォームにアクセスできるQRコードを掲載。
- 有効回答数 1,683件
- 質問項目
 - ・来場者の属性(性別、居住地、年齢、職業)
 - ・来場理由、イベント情報の入手先
 - ・印象に残ったイベント、ブース
 - ・日本産果物を購入する際の関心事項、購入場所
 - ・よく食べる日本のフルーツ、好きな食べ方、今後食べてみたいフルーツ
 - ・その他 等



① 来場者の属性 その1

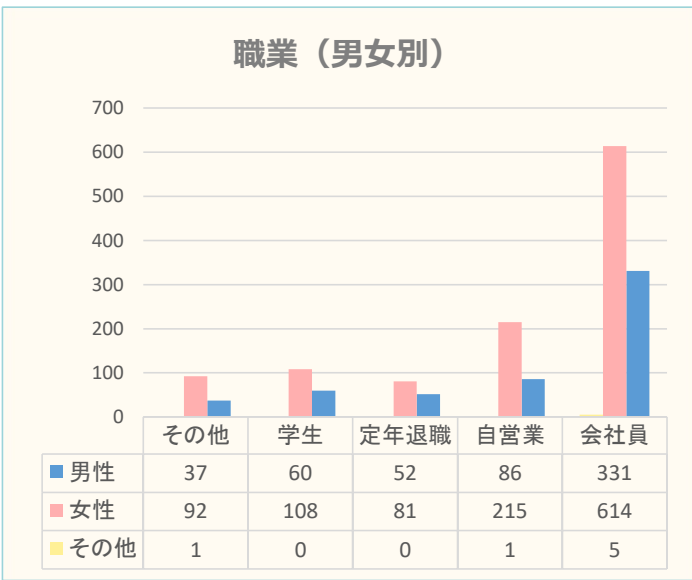
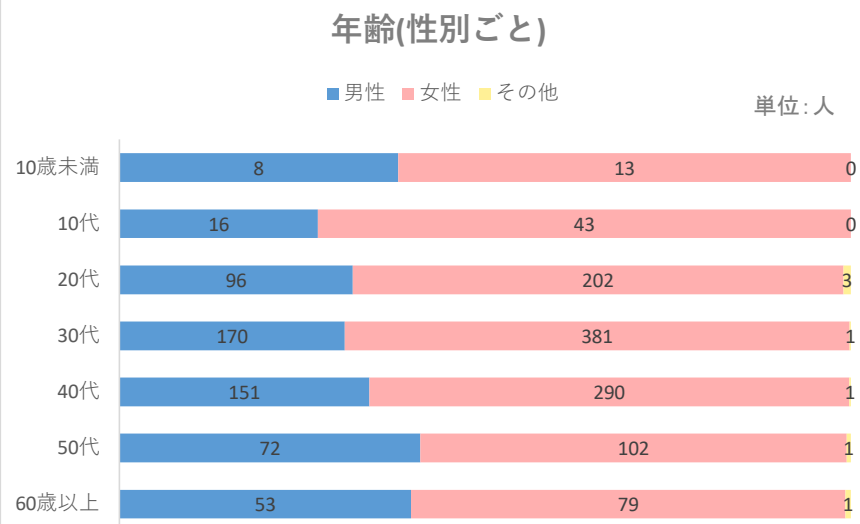
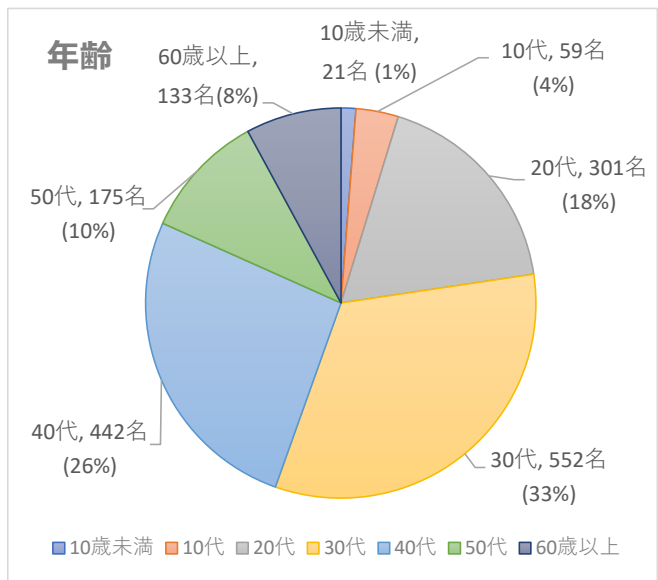
- 男性が556名 (34%)、女性が1,110名 (66%)の回答が得られた。
- 南部の高雄・屏東からの参加者が全体の8割を占めた。
- 次いで、雲林、嘉義、台南といった西南部からの参加者が多かった。北部および中部の都市からの来場者も1割程度見られた。



住まい	男性	女性	その他	合計
基隆市・台北市・新北市	25	42	0	67
桃園市・新竹縣・新竹市・苗栗縣	18	39	0	57
台中市・彰化縣・南投縣	28	42	0	70
雲林縣・嘉義縣・嘉義市・台南市	34	71	2	107
高雄市・屏東縣	448	899	5	1352
宜蘭縣・花蓮縣・台東縣	4	8	0	12
澎湖縣・金門縣・連江縣	4	2	0	6
海外（台湾・日本以外）	5	7	0	12
総合計	566	1110	7	1683

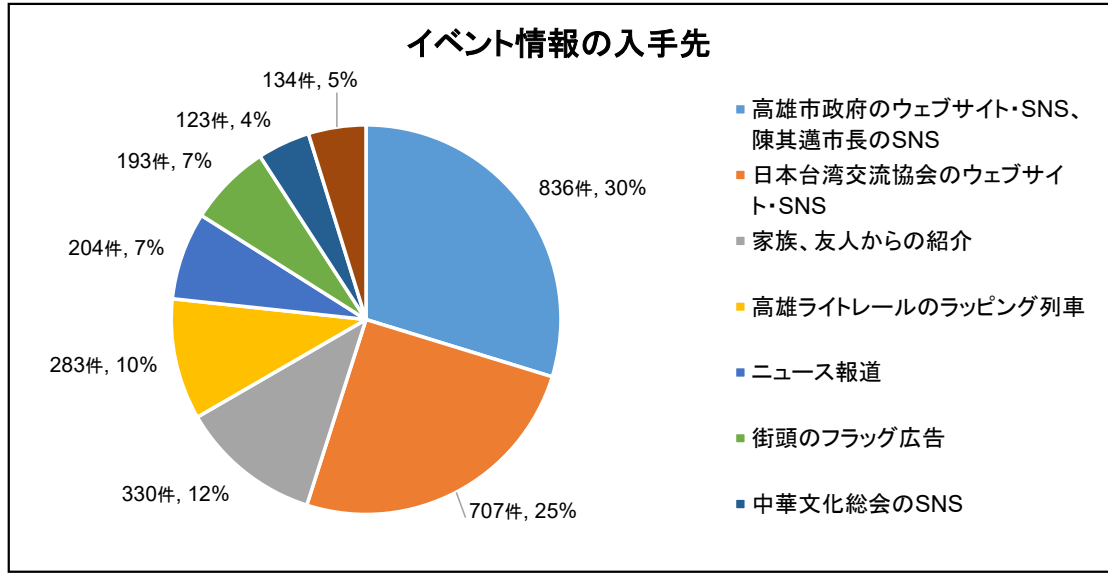
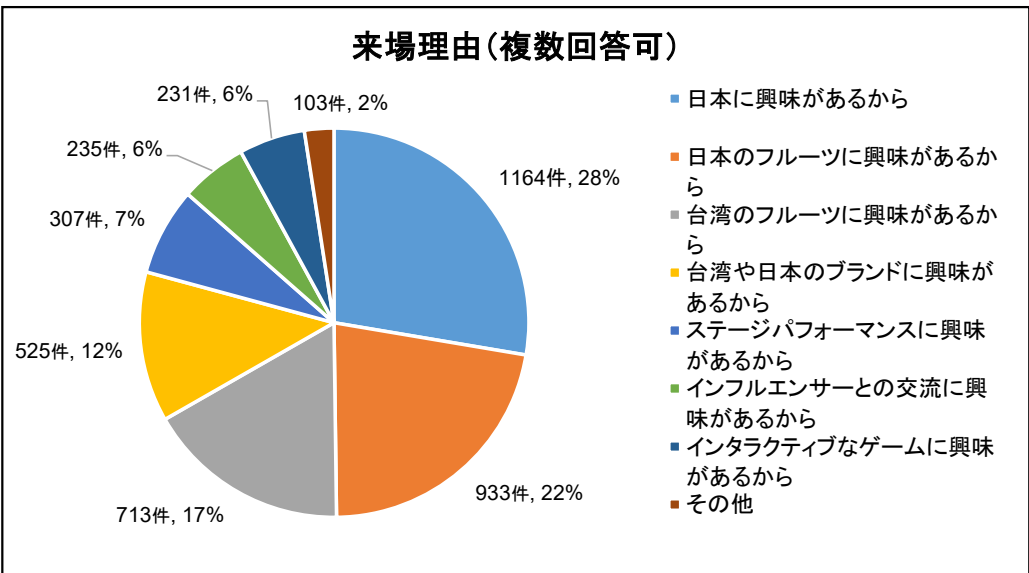
② 来場者の属性 その2

- 回答者の5割以上を、30代から40代が占めた。
- 職業については会社員・自営業が大半であった。フルーツをメインとしたイベントであり、週末の開催であったこともあり、家族連れの来場が多く見受けられた。



③ 来場理由、イベント情報の入手先

- 来場理由として、日本への興味、日本の果物への興味が約5割を占めた。
- 情報の入手先としては、ウェブやSNS経由が6割以上であった。
- 交流協会からの情報発信が、日本に関心の高い台湾消費者の情報収集源の一つであることに加えて、地元自治体及びその首長からの情報発信も高いPR効果があったと考えられる。

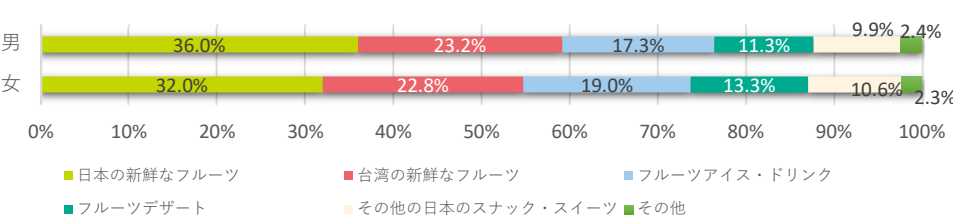


※参考: イベント情報入手先 昨年度のアンケート結果(上位5項目)
回答総数 734件
①交流協会のFB(153件、21%)、②交流協会のHP(151件、21%)
③口コミ(114件、16%)、④ネット報道(66件、9%)⑤のぼり旗(65件、9%)

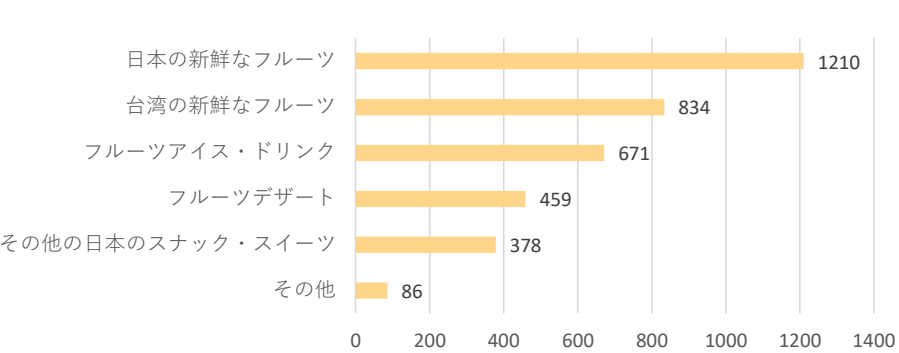
④ 特に印象に残ったブース

- 特に印象に残ったブースでは、全体では「日本の新鮮なフルーツ」が最も多かった。
- 生鮮フルーツへの関心は、60代以上が最も高かった(10代:50%、60代以上:66.3%) 一方、アイス・ドリンクやデザート等の加工品への関心は、10代が最も高かった(10代:38%、60代以上:24%)。

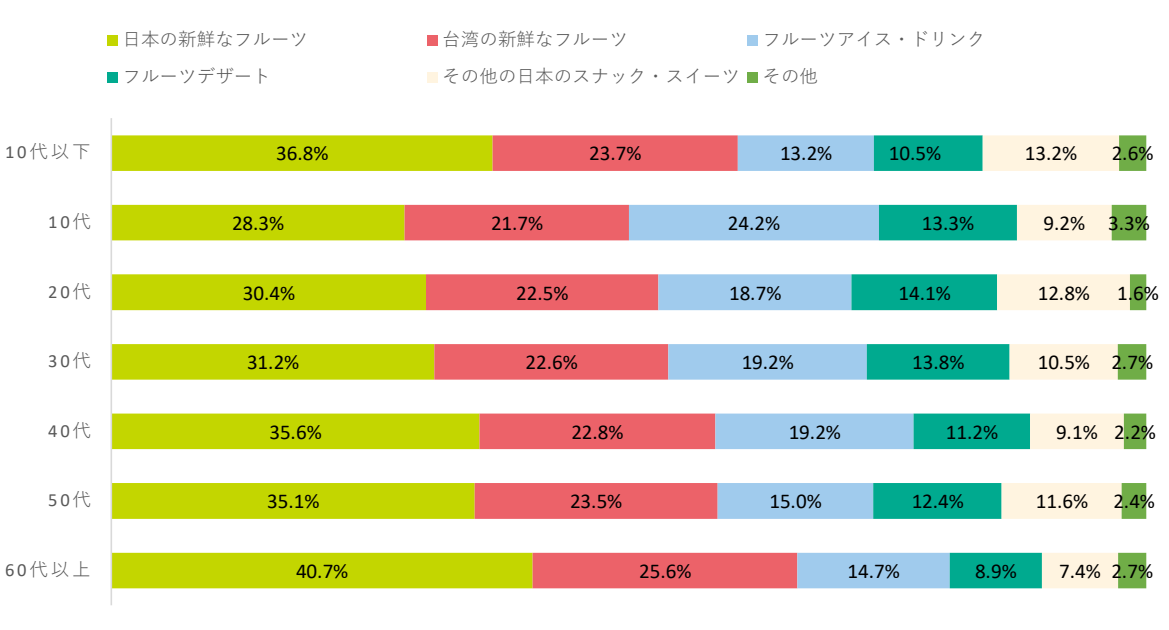
特に印象に残ったブース(性別ごと)



特に印象に残ったブース(複数回答可)

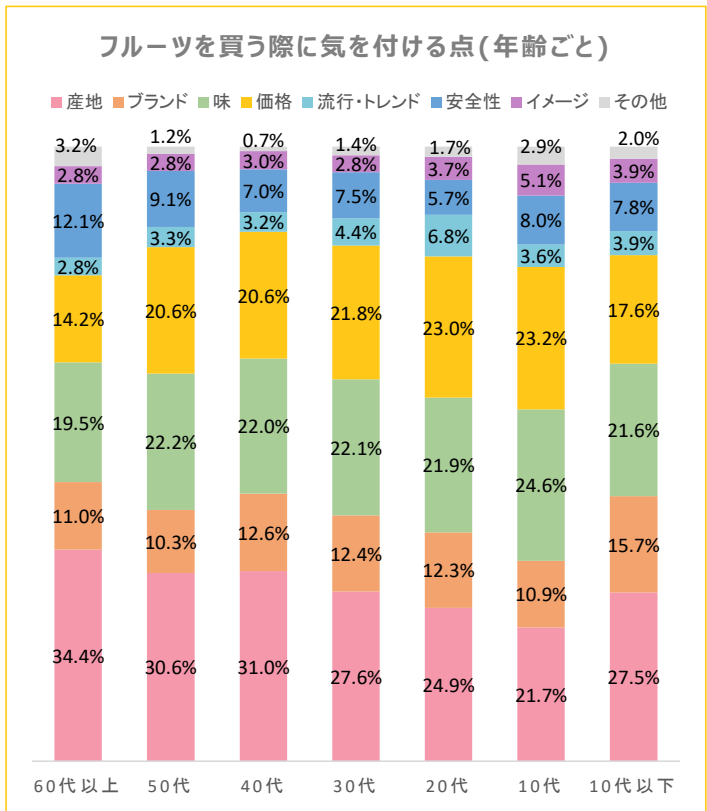
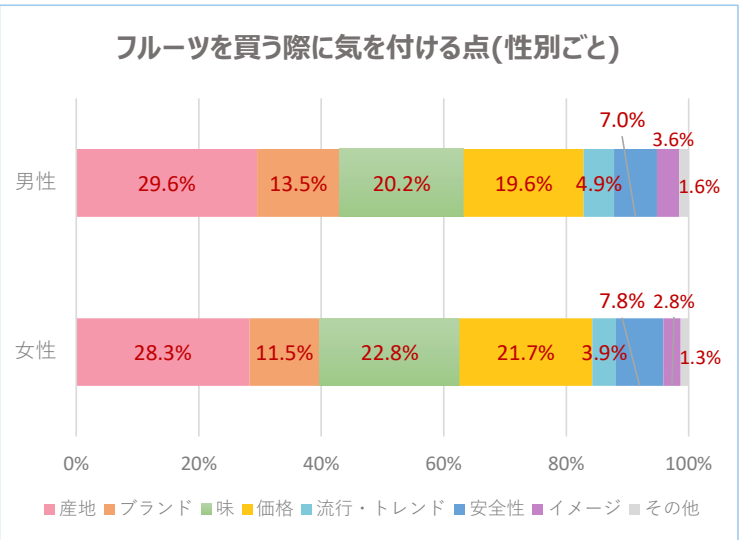
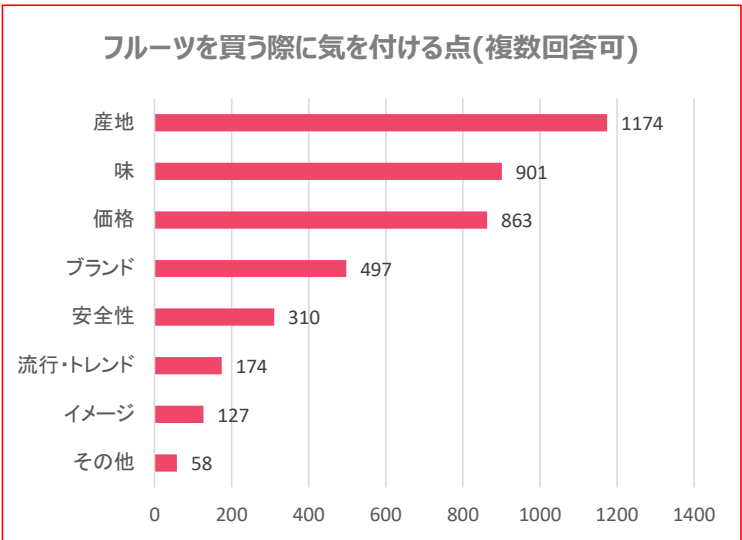


特に印象に残ったブース(年齢ごと)



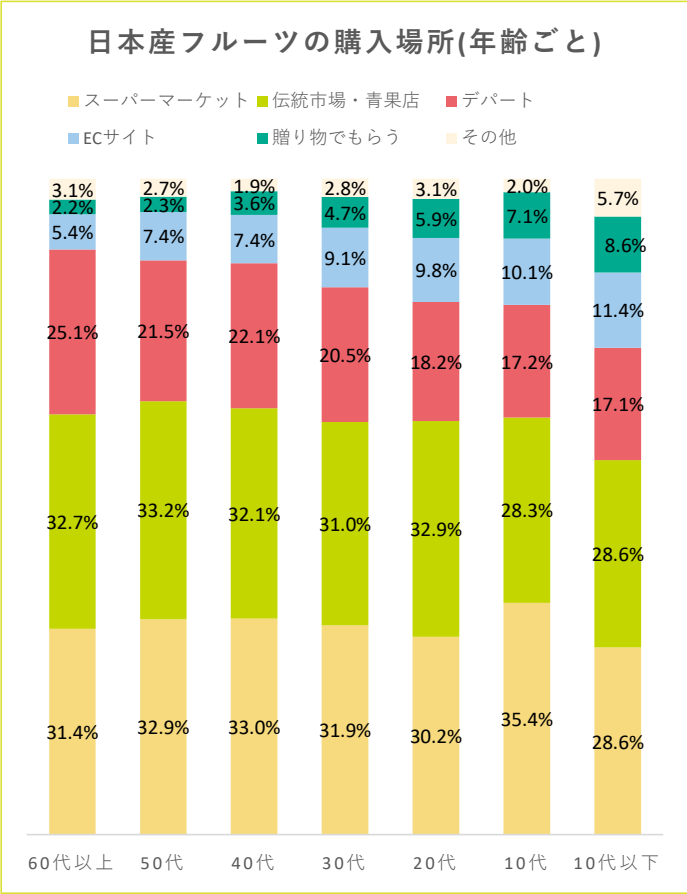
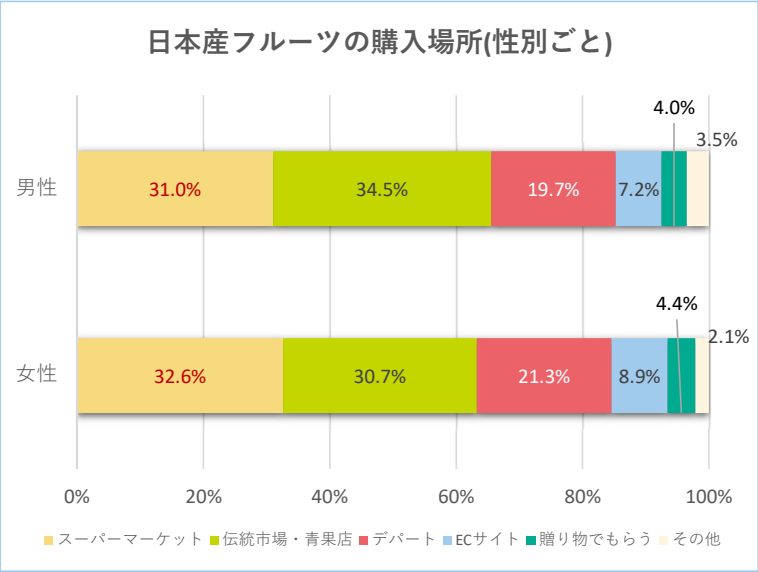
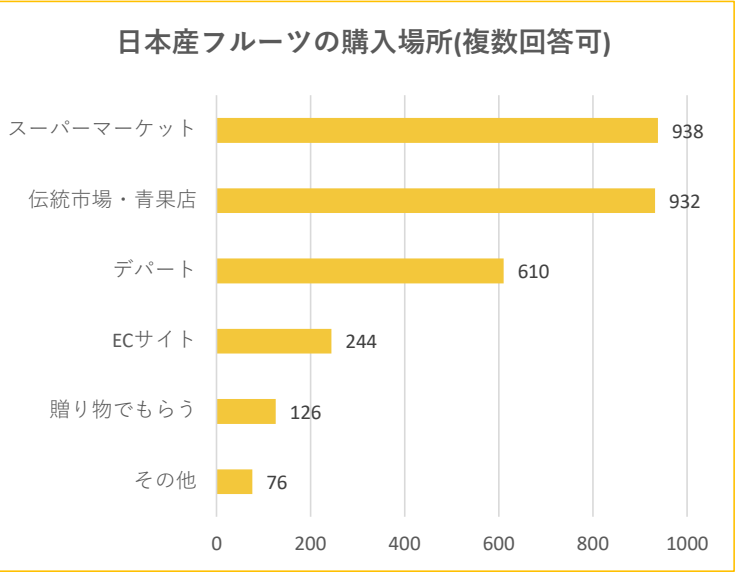
⑤フルーツを買う際の関心事項

- 日本産果物を買う際に興味を持っている点として、産地への関心が最も高く、味、価格が続いた。
- 味は各年代とも一定して2割程度を占めたが、年齢層が高くなるにつれ、産地及びブランドへの関心が高まる傾向が見られた。



⑥ 日本産フルーツの購入場所

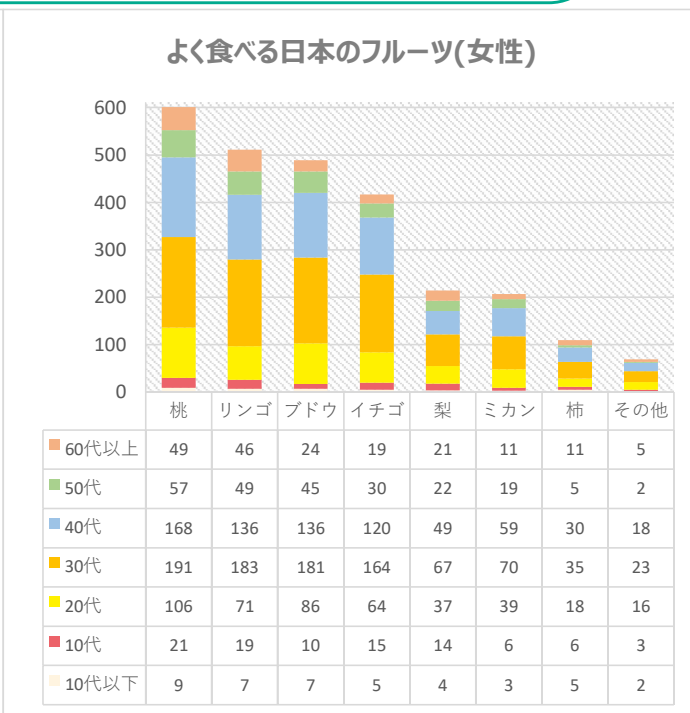
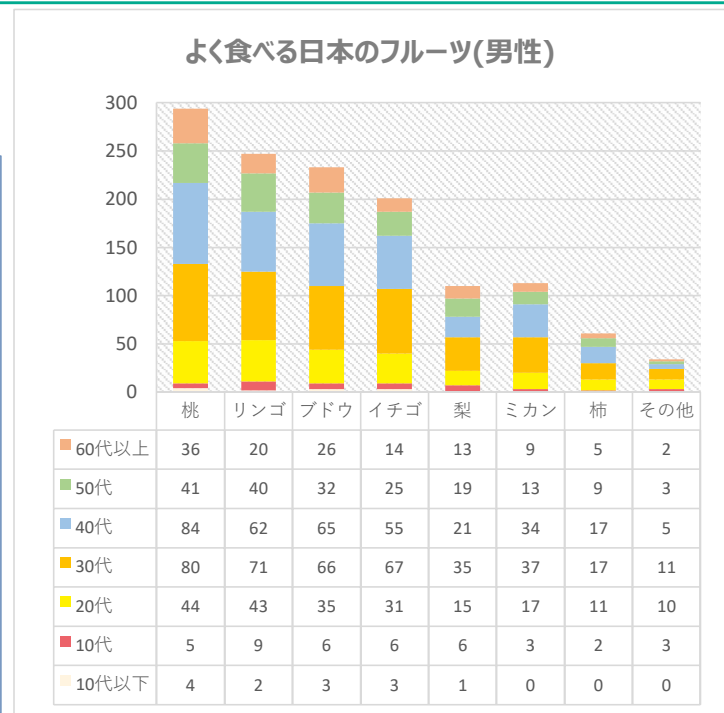
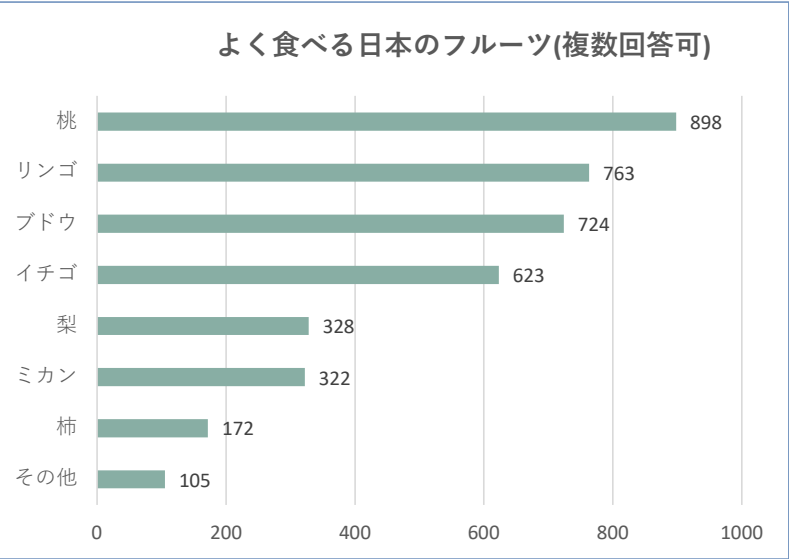
- 日本産果物の購入場所としては、スーパーマーケットおよび伝統市場・青果店が多く、次点でデパートが続いた。
- 年代が高いほどデパートでの購入が多く見られた。一方、ECサイトは年代が若いほど利用率が高かった。



⑦ よく食べる日本のフルーツ

- よく食べる日本のフルーツとしては、桃が最も高く、リンゴ、ブドウ、イチゴが続いた。性別による違いはあまり見られなかった。
- 全年代通じて桃が1位を占めており、年代別にみても順位に大きな差は見られなかった。

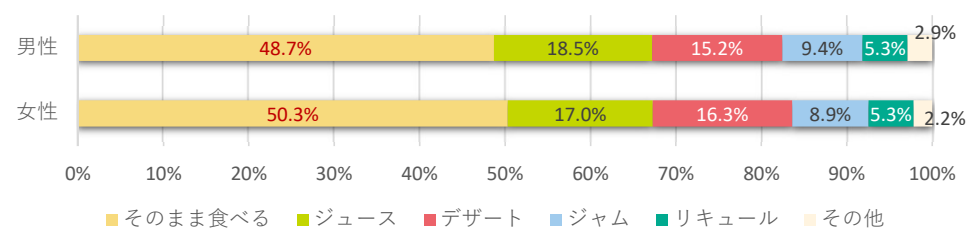
性別ごと	桃	リンゴ	ブドウ	イチゴ	梨	ミカン	柿	その他
男性	22.7%	19.1%	18.0%	15.5%	8.5%	8.7%	4.7%	2.6%
女性	23.0%	19.5%	18.7%	15.9%	8.2%	7.9%	4.2%	2.6%



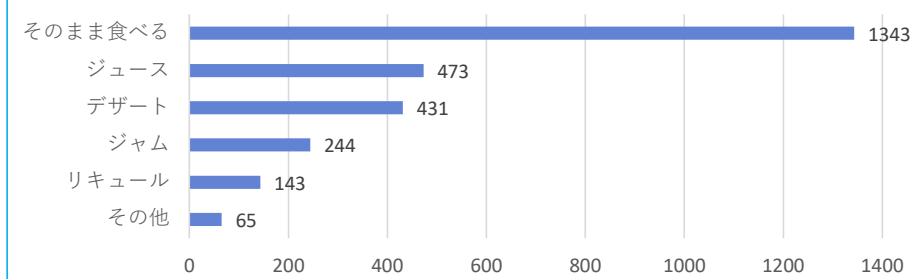
⑧ 日本のフルーツの好きな食べ方

- 好きな食べ方では「そのまま食べる」が1位であり、男女とも約5割を占めた。
- 年齢層が高いほど「ジュースやデザートで食べる」に比べて「そのまま食べる」ことを好む傾向が強いが、10代及びそれ以下の若い年齢層では、「そのまま食べる」と「ジュースやデザートで食べる」の割合が同程度であった。

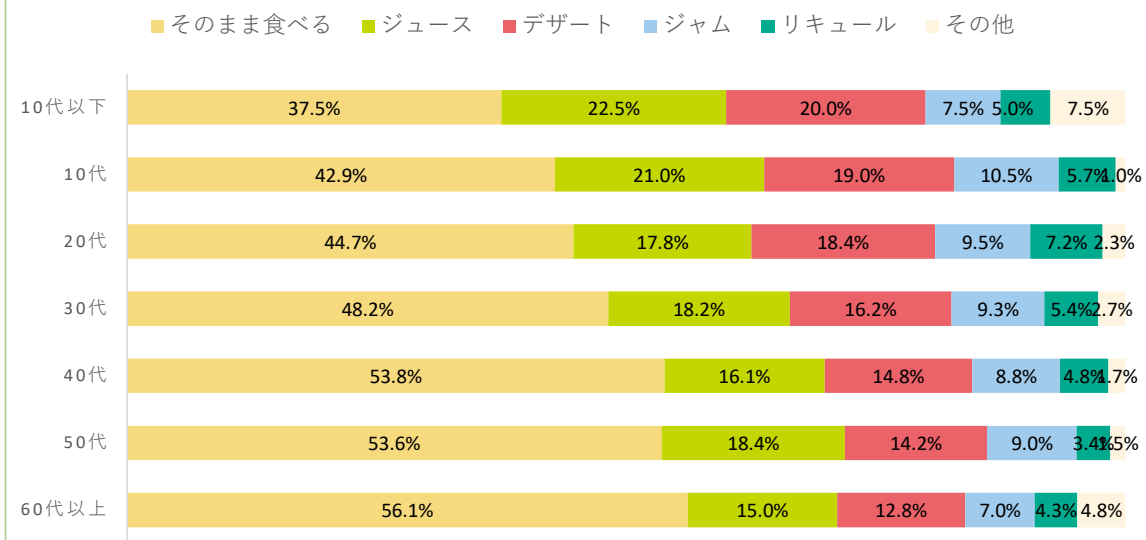
フルーツの食べ方(性別ごと)



フルーツの食べ方(複数回答可)

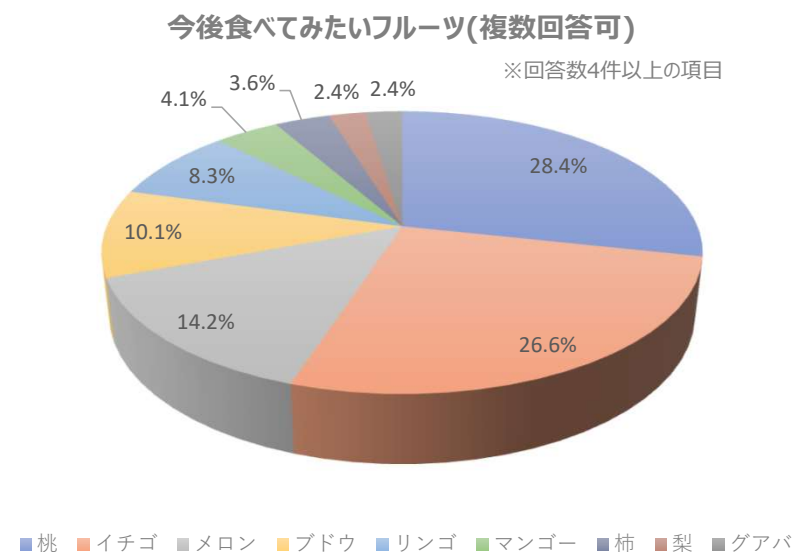
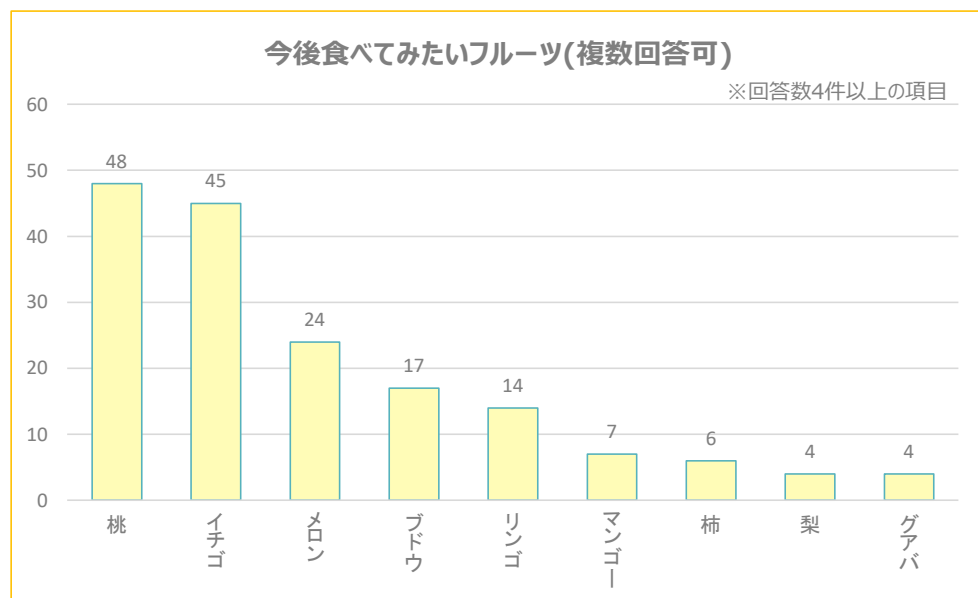


フルーツの食べ方(年齢ごと)



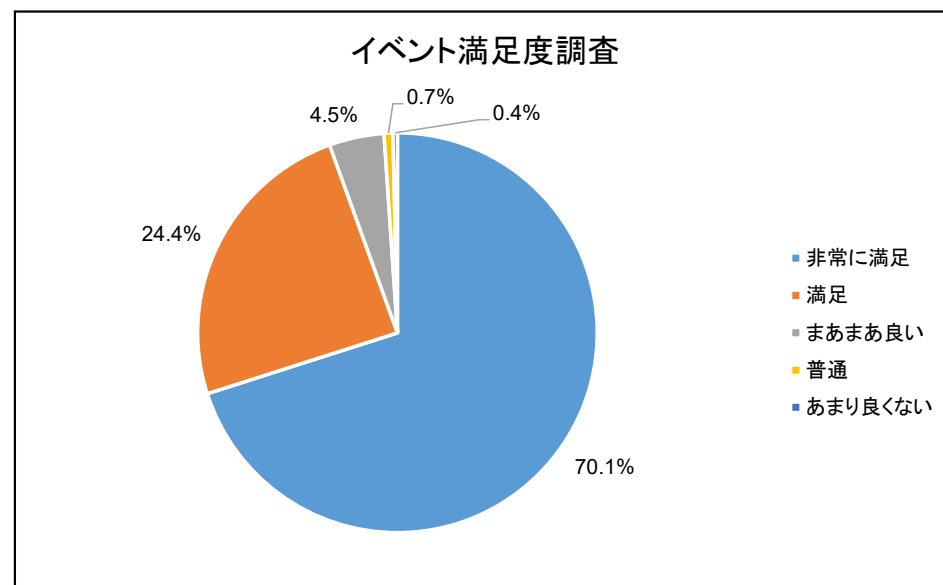
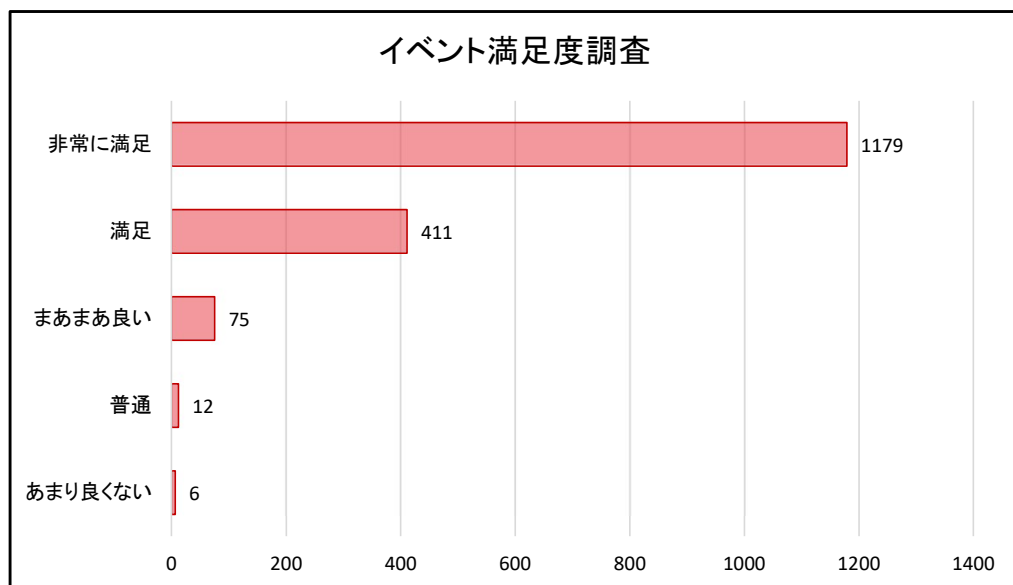
⑨ 今後食べてみたいフルーツ

- 「よく食べる日本のフルーツ」と同様、桃が1位を占めた。
 - 一方で、「よく食べる日本のフルーツ」で選択肢を設けなかったメロンに対する関心の高さが見られた。
- (よく食べる日本のフルーツの順位: ①桃、②ブドウ、③リンゴ、④イチゴ、⑤梨、⑥みかん)



⑩ イベントの満足度

- 「非常に満足」が7割程度、「満足」が2割を占め、両者で9割以上を占めた。
- 「普通」「あまり良くない」の回答は1%程度であり、満足度の高いイベントとすることが出来た。



⑪ (参考) アンケート、選択肢一覧

1.性別

男性、女性、その他

2.年齢

10歳未満、10代、20代、30代、40代、50代、60歳以上

3.出身

台湾、日本、その他

4.居住地

台北市、新北市、桃園市、その他

5.職業

会社員、自営業、定年退職、学生、その他

6.来場理由（複数回答可）

①日本に興味があるから②日本のフルーツに興味があるから
③台湾のフルーツに興味があるから④台湾や日本のブランドに興味があるから⑤ステージパフォーマンスに興味があるから⑥インフルエンサーとの交流に興味があるから⑦インタラクティブなゲームに興味があるから⑧その他

7.イベント情報の入手先（複数回答可）

①高雄市政府のウェブサイト・SNS、陳其邁市長のSNS ②日本台湾交流協会のウェブサイト③家族、友人からの紹介④高雄ライトレールのラッピング列車⑤日本台湾交流協会のSNS ⑥ニュース報道⑦街頭のフラッグ広告⑧中華文化総会のSNS⑨その他

8.特に印象に残ったブース（複数回答可）

①日本の新鮮なフルーツ②台湾の新鮮なフルーツ③フルーツアイス・ドリンク④フルーツデザート⑤その他の日本のスナック・スイーツ⑥その他

9.フルーツを買う際に気を付ける点（複数回答可）

①産地②ブランド③味④価格⑤流行・トレンド⑥安全性⑦イメージ⑧その他

10.日本産果物の購入場所（複数回答可）

①スーパーマーケット②伝統市場・青果店③デパート④ECサイト⑤贈り物でもらう⑥その他

11.よく食べる日本のフルーツ（複数回答可）

①桃②リンゴ③ブドウ④イチゴ⑤梨⑥ミカン⑦柿⑧その他

12.日本のフルーツの好きな食べ方（複数回答可）

①そのまま食べる②ジュース③デザート④ジャム⑤リキュール⑥その他

13.今後食べてみたいフルーツ

（自由記載）

14.イベントの満足度

非常に満足、満足、まあまあ良い、普通、あまり良くない

※この他、日台交流全般に関する設問等も設けたが本レポートでは省略している。
また、回答数が少ない設問等については、記載を省略したものもある。

(注意事項)

- ・本資料に起因して発生した損害・不利益等において、公益財団法人 日本台湾交流協会は一切の責任を負いません。
- ・本資料の無断引用、転載を禁じます。

【本資料に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 日本台湾交流協会
日本産農林水産物・輸出支援プラットフォーム(台湾) 事務局

電話番号 : 886-2-2713-8000

メール : taiwan-pf-k1@tp.koryu.or.jp